

令和4年8月9日
沖縄県土木建築部
道路街路課

「新都心～那覇インターチェンジ付近」の道路課題について

皆様のご意見をお聞かせください

新都心～那覇インターチェンジ付近にかけての道路計画を検討するにあたり、地域の皆様が日頃から感じている「道路交通や地域の課題」等についてアンケート調査を行います。

○調査期間：令和4年8月16日（火）～9月30日（金）

○調査内容：県民や観光客等の道路利用者を対象に、道路の利用状況や課題、道路整備の必要性などについて意見を把握するために実施。

○調査対象・実施区分：

調査区分	対象	実施方法	実施期間
アンケート調査	那覇市、宜野湾市、浦添市、豊見城市、南城市、西原町、南風原町、与那原町、八重瀬町にお住まいの方	調査票を30,000世帯に無作為配布	8/16～9/30
	道路利用者、観光客	WEBアンケート実施	
ヒアリング調査	関係自治体や商工会等の関係団体、運送事業者等	訪問等によりインタビュー形式のヒアリング実施	

【問い合わせ先】沖縄県土木建築部 道路街路課

すなかわ ゆうじ
課長 砂川 勇二（内線3496）

つげ まさる
【担当】企画調整班 柘植 優（内線3507）

あさと ゆうすけ
安里 祐亮（内線3509）

TEL 098-866-2390

URL <https://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/dorogai/index.html>

「新都心～那覇IC 付近」の道路課題に関するアンケートにご協力をお願いいたします

新都心から沖縄自動車道・那覇IC(インターチェンジ)付近にかけての約5km区間は県道82号那覇糸満線などで結ばれていますが、渋滞による速度低下などが課題となっている区間です。(位置図はp.2)

この区間に規格の高い道路を整備することによって道路網が強化され、周辺道路や那覇都市圏での渋滞緩和につながることを期待されます。(道路整備のイメージ図はp.2下段)

本調査は、この新都心から那覇IC付近にかけての道路計画を検討するにあたり、地域の皆様が日頃から感じている「道路交通や地域の課題」等についてご意見を頂くことを目的としています。皆様のご協力をお願いいたします。


■ アンケート対象者

- 本アンケートは那覇市・宜野湾市・浦添市・豊見城市・南城市・西原町・南風原町・与那原町・八重瀬町に居住する方から無作為に配布しています。
- 調査の対象は18歳以上の方です。
- 配布世帯のご家族の方も18歳以上であれば回答が可能です。ただし、同封する調査票は2枚なので、3人目以降の方の回答については申し訳ありませんが下記の【方法2】にてお願いいたします。
- 回答の提出は、同封する調査票への記入またはWebのうち一方のみとし、おひとり様1回限りといたします。

■ 回答方法 及び 回答の締切

- 回答は、以下に示す方法のうち1つをお選びください。
- 【方法1】同封している調査票にご記入の上、返信用封筒に入れて、**令和4年9月30日(金)まで**に、切手を貼らず郵便ポストへ投函をお願いいたします。
- 【方法2】インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンから、下記のA、Bいずれかの方法で回答フォーム(沖縄県ホームページ)にアクセスし、**令和4年9月30日(金)まで**に、回答してください。

A 沖縄県ホームページの
回答フォームから回答

道路街路課 アンケート  で検索

B スマートフォンや
タブレットから
右QRコードへアクセス



新都心～那覇IC 付近の地図

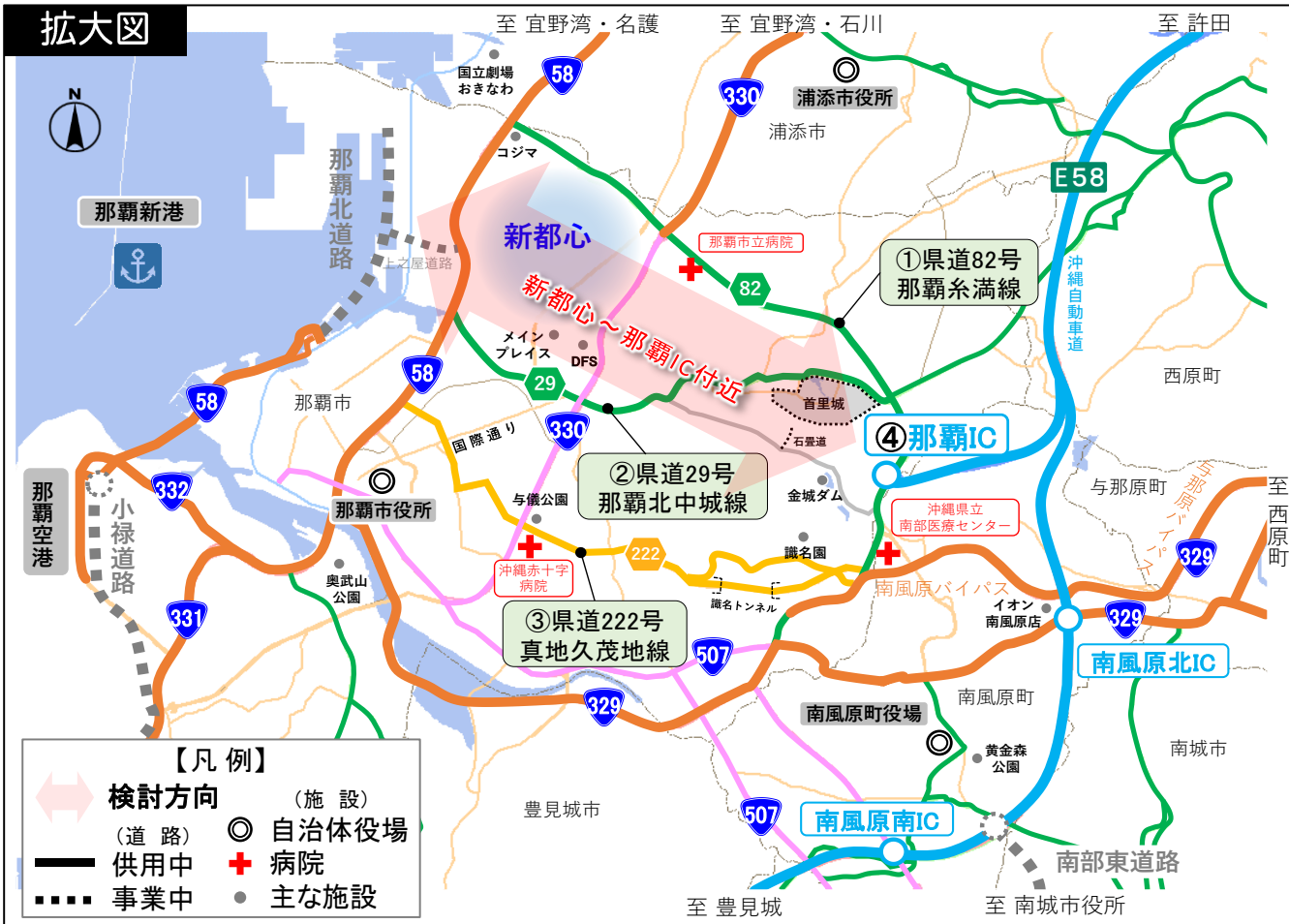
広域図



おもに、新都心から沖縄自動車道・那覇インターチェンジ付近にかけての道路状況についてお伺いします。

当該区間の主な経路としては、県道82号那覇糸満線や県道29号那覇北中城線などがあります。
(それ以外の道路利用者も本アンケートの対象です)

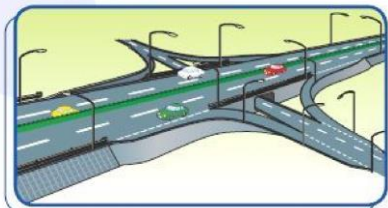
拡大図



規格の高い道路のイメージ図

【イメージ図出典】新潟県HP

●自動車専用道路



●アクセスコントロール※



●主要交差点立体化&沿道アクセス集約



※交差点の立体化や沿道からの出入り制限等で通行機能を高め、概ね60km/h以上で走行できる道路

■本アンケートの回答結果は道路整備検討の参考意見となります。

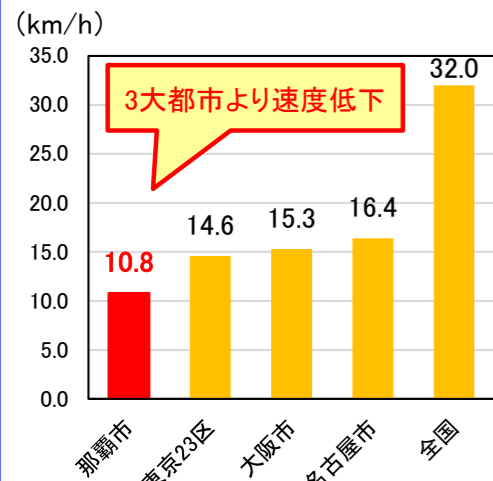
沖縄県では道路事業の透明性・効率性を高めるため、地域の声（地域住民の皆様、道路利用者、関係団体等）を伺っております。

いただいたご意見は、今後の道路整備方針を考える際の参考として活用します。

「新都心～那覇IC 付近」の道路課題を以下のように考えました。

1 周辺の幹線道路や生活道路が混雑しており、移動に時間がかかる

- ◆対象地域である那覇市には市外からの通勤・通学交通が集中しており、特に隣接する南風原町では自動車依存度が高い。
- ◆那覇市内の平日混雑時の平均旅行速度※は全国最低の水準。



※平均旅行速度とは、信号待ちや交通渋滞による停止を含めた移動速度のこと。平均旅行速度が低いほど混雑していると言える。

資料: 平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査
▲平日混雑時旅行速度

2 地域内の生活道路に車が流入し、交通事故の危険性といった不安がある

- ◆対象地域にある県道82号線(那覇系満線)等の幹線道路では、日常的に渋滞が発生し、交通事故も多発。
- ◆幹線道路の渋滞を避けた交通が、幅員の狭い生活道路に流入し、生活道路における人対車両事故が多発。



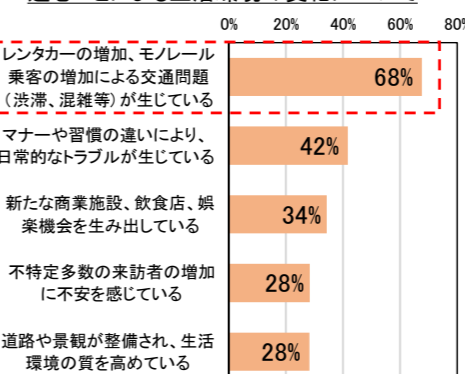
▲対象区間周辺の事故発生状況(生活道路等)

資料: 交通事故発生位置図システム (平成29年～令和2年)

3 観光地や空港といった観光拠点間の移動に時間がかかる

- ◆対象区間は、那覇市内や那覇港と首里城や識名園等の世界遺産を結ぶ人気観光経路であるが、地域住民と観光客の交通の混在で渋滞が発生。
- ◆渋滞などの交通問題が観光客や地域住民の満足度低下を招いており、定時性・速達性の高い観光経路の確保および観光交通の分散が課題。

▼那覇市民への意識調査結果
Q.観光客の増加や、観光地としての整備が進むことによる生活環境の変化について

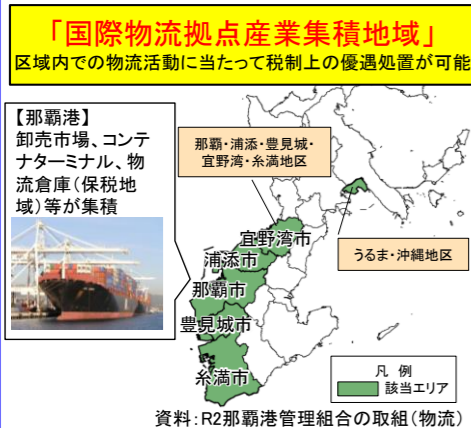


※その他、無回答を除いた、回答者数に対する選択割合
資料: 平成30年度那覇市民意識調査報告書

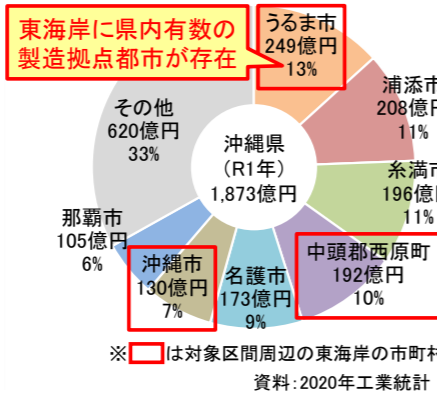


4 産業・物流拠点から国道58号や沖縄自動車道といった幹線道路までの移動に時間がかかる

- ◆西海岸沿いに那覇空港・那覇港等の物流拠点が立地する一方で東海岸沿いに製造拠点が多数立地。
- ◆渋滞の慢性化により、那覇空港や那覇港等への速達性が低下しており、産業・物流拠点間の円滑な物流経路の確保が課題。



▲国際物流拠点産業集積地域



▲県内製造業の粗付加価値額

※粗付加価値額とは、売上高から原材料費や仕入原価等の変動費を差し引いたもの。国レベルでは、国内総生産(GDP)に相当する。

5 南部医療センターや那覇市立病院といった救急医療施設への搬送や移動に不安がある

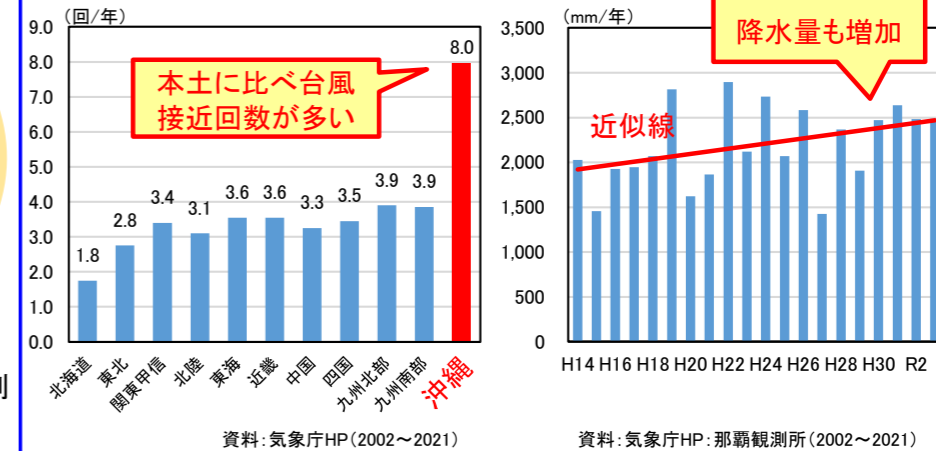
- ◆那覇市では救急出動件数が年々増加しているが、搬送時の医療施設収容所要時間は多くが30分以上を要している。
- ◆平常時・災害時問わず救急医療施設への速達性の確保が課題。



▲那覇市の収容所要時間別搬送人員割合 (R2)

6 周辺の幹線道路は災害等による通行止め発生時の代替路不足に不安がある

- ◆沖縄県は、台風接近回数が年平均8回と多く、降水量も増加しており、対象地域周辺には土砂災害の危険箇所も存在。
- ◆大規模な地震・津波時には、那覇港等の救援物資等の備蓄・集積拠点や災害医療拠点である南部医療センター等への速達性強化が課題。



▲地域別の年平均台風接近回数

▲那覇地域の年間降水量の推移

アンケート調査票

【回答はWebでも可能です】沖縄県ホームページでも回答を受け付けます。詳しくは同封する説明資料をご覧ください。

「新都心～那覇IC付近」の道路課題に関するアンケート調査票

同封の説明資料をご確認のうえお答えください。

ご回答者についてお聞きします。以下に示す項目について、あてはまる番号を1つ選び、回答欄に○を付けてお答えください。なお、「その他」を選んだ場合は「その他」()欄に具体的な内容をご記入ください。

年齢：1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上
 職業：1. 学生 2. 会社員・公務員 3. 自営業 4. 無職 5. その他 ()
 住所：沖縄県 / () 市・町・村 / 字 ()
 運転免許の有無：1. 保有している 2. 保有していない

問1 周辺道路の利用状況について

以下に示す4つの道路に関する利用頻度、利用手段、利用目的についてお答えください。なお、「その他」を選んだ場合は「その他」()欄に具体的な内容をご記入ください。

項目	①県道82号 那覇系満線	②県道29号 那覇北中城線	③県道222号 真地久茂地線	④沖縄自動車道 ・那覇インターチェンジ
【利用頻度】 あてはまる番号を1つ 選び、○を付けてくだ さい。	1. 毎日 2. 週に数回程度 3. 月に数回程度 4. 年に数回程度 5. 年に1回未満 6. 利用していない	1. 毎日 2. 週に数回程度 3. 月に数回程度 4. 年に数回程度 5. 年に1回未満 6. 利用していない	1. 毎日 2. 週に数回程度 3. 月に数回程度 4. 年に数回程度 5. 年に1回未満 6. 利用していない	1. 毎日 2. 週に数回程度 3. 月に数回程度 4. 年に数回程度 5. 年に1回未満 6. 利用していない
【利用手段】 あてはまる番号をすべ て選び、○を付けてくだ さい。	1. 自動車 2. バイク 3. タクシー 4. 路線バス 5. 自転車 6. 徒歩 7. その他()	1. 自動車 2. バイク 3. タクシー 4. 路線バス 5. 自転車 6. 徒歩 7. その他()	1. 自動車 2. バイク 3. タクシー 4. 路線バス 5. 自転車 6. 徒歩 7. その他()	1. 自動車 2. バイク 3. タクシー 4. 路線バス 5. 自転車 6. 徒歩 7. その他()
【利用目的】 あてはまる番号をすべ て選び、○を付けてくだ さい。	1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 私用(日常的な買 い物・食事など) 5. 仕事(営業・運送) 6. その他 ()	1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 私用(日常的な買 い物・食事など) 5. 仕事(営業・運送) 6. その他 ()	1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 私用(日常的な買 い物・食事など) 5. 仕事(営業・運送) 6. その他 ()	1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 私用(日常的な買 い物・食事など) 5. 仕事(営業・運送) 6. その他 ()

問2 沖縄自動車道・那覇インターチェンジを利用しない理由

(※問1で④沖縄自動車道・那覇インターチェンジを利用していないと回答した方はお答えください)

沖縄自動車道・那覇インターチェンジを利用しない理由について、あてはまる番号を全て選び、回答欄に○を付けてお答えください。(複数回答可)

なお、「その他」を選んだ場合は「その他」()欄に具体的な内容をご記入ください。

1. 料金がかかるから 2. 那覇インターチェンジまで(から)のアクセスに時間がかかるから 3. 遠回りになるから
 4. 急ぐ必要がないから 5. その他 ()

⇒ウラ面につづきます

問3 新都心～那覇 IC 付近の道路課題

問3-1. 新都心～那覇 IC 付近の道路には、どのような課題があると思いますか。(添付資料の p.2 参照)
以下の①～⑥の項目に対して5段階評価ではまる番号を1つ選び、○を付けてお答えください。

項目	問題だと思 う	やや問題 だと思 う	あまり 問題だ と思 わない	問題だ と思 わない	わ か ら な い
①周辺の幹線道路(県道 82 号線・県道 29 号線・県道 222 号線)や生活道路が混雑しており、移動に時間がかかる	1	2	3	4	5
②地域内の生活道路に車が流入し、交通事故の危険性といった不安がある	1	2	3	4	5
③観光地や空港といった観光拠点間の移動に時間がかかる	1	2	3	4	5
④産業・物流拠点から国道 58 号や沖縄自動車道(那覇インターチェンジ)といった幹線道路までの移動に時間がかかる	1	2	3	4	5
⑤南部医療センターや那覇市立病院といった救急医療施設への搬送や移動に不安がある	1	2	3	4	5
⑥周辺の幹線道路(県道 82 号線・県道 29 号線・県道 222 号線)は災害等による通行止め発生時の代替路不足に不安がある	1	2	3	4	5

問3-2. 「問3-1」の回答理由、上記以外で困っている点、改善してほしい点について、意見があれば以下の回答欄にできるだけ具体的に記入し、お答えください。

問4 道路整備に期待する効果

該当地域で道路整備を行う場合に期待する効果について、あてはまる番号を全て選び、回答欄に○を付けてお答えください。(複数回答可)なお、「その他」を選んだ場合は「その他」()欄に具体的な内容をご記入ください。

1. 移動時間が短縮する	2. 観光地(目的地)での滞在時間が増加する
3. 時間通りに移動できるようになる	4. 現道路の混雑が解消または緩和する
5. 沿道地域の魅力向上や市街地の発展	6. 救急搬送時間の短縮などによる救命率の向上
7. 災害時の避難経路が確保される、人やモノの支援が届きやすくなる	
8. その他 ()	

問5 道路整備による対策の必要性

該当地域の現状と課題を踏まえ、那覇市内の渋滞や東西方向(新都心～那覇 IC 付近)の円滑な移動について、道路整備による対策が必要だと思いますか。あてはまる番号を1つ選び、回答欄に○を付けてお答えください。

項目	そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い
那覇市内の渋滞について、道路整備による対策が必要	1	2	3	4	5
東西方向の円滑な移動について、道路整備による対策が必要	1	2	3	4	5

問6 道路整備について、その他のご意見・ご要望(枠内に自由にご記入ください)

～設問は以上になります。ご協力ありがとうございました。～

本回答の返送方法：同封する返信用封筒に入れて令和4年9月30日(金)までに、切手を貼らずに郵便ポストへご投函をお願いいたします。

【回答は Web でも可能です】 キーワード検索や QR コードから回答画面(沖縄県ホームページ)にアクセスできます。詳しくは同封する説明資料をご覧ください。